

V. 将来の構想

1. 将来の構想

(%)

	件数	て い る 業 を 目 指 し	独 立 開 業 を 目 指 す	で 勤 業 を ま ま 定 年 ま	現 状 の ま ま を 年 ま	一 転 業 の ま ま を 年 ま	適 当 な 時 に 転 職	一 転 業 し て も い い 職	今 すぐ に で い ない	特 に 考 え て い ない	不 明
全体(2009)	746	19.6	34.5	12.9	6.7	23.2	3.2				
20代	177	33.9	10.7	23.2	6.8	23.2	2.3				
30代	140	32.9	20.0	15.7	7.9	22.9	0.7				
40代	191	15.2	41.9	11.5	9.9	20.4	1.0				
50代	151	4.0	70.2	3.3	4.6	15.9	2.0				
60歳以上	62	3.2	30.6	3.2	-	48.4	14.5				
全体(2006)	581	22.9	27.7	19.1	8.6	21.7					
全体(2003)	644	17.5	33.1	13.8	5.7	29.8					

2. 歯科技工業の将来

(%)

	件数	る べ き で あ る し て の 確 立 を 図	歯 科 医 療 と し る べ き で あ る 図	追 求 を 進 め る べ き で あ る 図	経 済 を 行 う と 割 り き り あ る 図	ど ち ら も い え ない	不 明
全体(2009)	746	74.9	7.9	14.9	2.3		
20代	177	77.4	10.7	11.9	-		
30代	140	70.0	9.3	20.0	0.7		
40代	191	81.7	5.2	12.0	1.0		
50代	151	74.2	7.9	15.9	2.0		
60歳以上	62	69.4	8.1	12.9	9.7		

< §7. 自営者項目編 >

I. 回答者プロフィール

1. 事業形態

	集計数	個人	有限会社	株式会社	その他	不明
全体(2009)	85	83.2	10.8	5.6	-	0.4
全体(2006)	407	77.6	16.7	2.9	-	2.7
全体(2003)	657	79.1	16.9	2.7	0.2	1.1
全体(2000)	428	80.1	15.0	4.7	-	0.2

2. 営業年数

●現在の歯科技工所を開設して

	集計数	1年未満	1年2年未満	2年3年未満	3年4年未満	4年以上	不明	平均(年)
全体(2009)	518	29.9	29.9	21.6	10.2	5.0	3.3	17.6
全体(2006)	407	19.4	34.7	24.0	12.3	5.2	4.4	19.4
全体(2003)	657	19.5	35.3	22.5	14.4	3.7	4.6	19.6

●歯科技工士として

	集計数	1年未満	1年2年未満	2年3年未満	3年4年未満	4年以上	不明	平均(年)
全体(2009)	518	3.7	28.4	31.1	23.9	10.0	2.9	26.5
全体(2006)	407	2.5	14.0	42.3	26.0	10.6	4.7	28.2
全体(2003)	657	2.4	10.5	43.4	25.1	14.5	4.3	28.8

3. 事業内容

	集計数	ポリーセレン系	リックウジ系	くわ金属床(除)	有床義歯系	金床系	矯正系	顎顔面補綴系	CAD/CAM	その他	不明
全体(2009)	518	58.9	81.9	68.9	34.6	24.9	29.5	10.0	2.5	0.2	
個人	431	55.5	81.7	68.4	29.9	22.0	26.2	7.7	2.6	-	
法人	85	77.6	84.7	71.8	57.6	40.0	47.1	22.4	2.4	-	
全体(2006)	407	57.5	82.6	71.5	34.4	27.5	27.0	3.9	3.4	1.7	

4. 就業者数

●総人数

	集計数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	不明
全体(2009)	518	30.5	35.9	12.2	4.6	4.2	5.8	1.5	0.4	0.8	0.8	3.3
全体(2006)	407	28.0	39.6	11.1	5.4	3.4	6.9	2.0	0.2	0.2	1.0	2.2
全体(2003)	657	27.5	34.6	14.3	7.3	2.9	9.3	2.0	-	0.2	0.6	1.4

●男女別総人数

	集計数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	不明	平均(人)
男性	518	0.8	66.2	13.9	10.2	3.5	1.7	0.4	3.3	2.1
女性	518	37.6	42.1	10.0	5.2	1.2	0.6	-	3.3	1.0

●職種別平均人数

	集計数	総人数	工務職	歯科技術職	事務職	外交職	その他
全体(2009)	518	3.2	2.3	0.5	0.3	0.2	
個人	431	2.1	1.5	0.4	0.1	0.1	
法人	85	8.4	6.1	0.9	0.9	0.5	
全体(2006)	407	3.3	2.2	0.5	0.3	0.2	

◎男女別歯科技工士人数

	集計数	(%)							
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	平均(人)
男性	518	1.0	69.3	12.7	8.7	3.3	1.7	3.3	1.9
女性	518	77.4	14.5	3.1	1.0	0.4	0.4	3.3	0.3

II. 環境について

1. 新卒者の採用(平成21年春)

◎採用の有無

	集計数	(%)		
		採用した	採用しない	不明
全体(2009)	518	5.8	93.6	0.6
個人	431	2.3	97.0	0.7
法人	85	23.5	76.5	-
全体(2006)	407	8.1	90.2	1.7
全体(2003)	657	7.8	91.3	0.9
全体(2000)	428	7.2	90.0	2.8

◎採用人数

	集計数	(%)							
		1人	2人	4人	6人	8人	1人以上	不明	
全体(2009)	30	66.7	23.3	10.0	-	-	-	-	
個人	10	90.0	10.0	-	-	-	-	-	
法人	20	55.0	30.0	15.0	-	-	-	-	
全体(2006)	33	75.8	15.2	3.0	3.0	-	3.0	-	
全体(2003)	61	78.4	11.8	3.9	2.0	2.0	-	-	

◎初任給

	集計数	(%)								平均(万円)
		満0万円未満	1万円未満	2万円未満	4万円未満	6万円未満	8万円未満	10万円以上	不明	
全体(2009)	30	3.3	-	-	13.3	60.0	13.3	10.0	-	16.8
個人	10	10.0	-	-	10.0	70.0	10.0	-	-	15.9
法人	20	-	-	-	15.0	55.0	15.0	15.0	-	17.2
全体(2006)	33	-	3.0	12.1	30.3	36.4	9.1	6.1	3.0	-
全体(2003)	51	-	2.0	5.9	31.4	33.3	17.6	5.9	3.9	-
全体(2000)	31	-	3.2	9.7	22.6	32.3	22.6	-	9.7	-

◎基本給

	集計数	(%)								平均(万円)
		満0万円未満	1万円未満	2万円未満	4万円未満	6万円未満	8万円未満	10万円以上	不明	
全体(2009)	30	10.0	6.7	30.0	36.7	6.7	10.0	-	-	13.8
個人	10	10.0	-	10.0	60.0	10.0	10.0	-	-	14.5
法人	20	10.0	10.0	40.0	25.0	5.0	10.0	-	-	13.5
全体(2006)	33	6.1	15.2	21.2	24.2	18.2	6.1	-	9.1	-
全体(2003)	51	2.0	13.7	21.6	31.4	23.5	3.9	-	3.9	-
全体(2000)	31	6.5	9.7	25.8	35.5	9.7	3.2	-	9.7	-

2. 既卒者の採用(平成20年7月~平成21年6月)

◎採用の有無

	集計数	(%)		
		採用した	採用しない	不明
全体(2009)	518	6.6	89.8	3.7
個人	431	3.2	92.8	3.9
法人	85	23.5	74.1	2.4
全体(2006)	407	6.1	88.9	4.9
全体(2003)	657	7.5	81.7	10.8

◎採用人数

	集計数	(%)							
		1人	2人	4人	6人	8人	1人以上	不明	
全体(2009)	34	82.4	17.6	-	-	-	-	-	
個人	14	92.9	7.1	-	-	-	-	-	
法人	20	75.0	25.0	-	-	-	-	-	
全体(2006)	25	72.0	20.0	8.0	-	-	-	-	
全体(2003)	49	75.5	20.4	2.0	-	-	-	-	

2. 歯科技工指示書の記載事項

集計数	設計	作成の方法	使用材料	発行の年月日	発行の所及び氏名	発行人の氏名	歯科技工所の名称	納期				その他	不明
								その	納期	その他	不明		
全体(2009)	518	80.7	69.7	88.0	98.5	91.5	95.8	98.5	98.8	10.4	0.2		
全体(2006)	407	73.7	64.9	82.1	96.3	90.4	94.1	96.3	97.1	11.3			
全体(2003)	657	73.5	70.0	83.9	95.3	89.8	92.1	97.3	97.7	9.9			

3. 1ヶ月の歯科技工所の売上合計(平成21年度6月期)

集計数	4万円未満	4万円~5万円未満	5万円~6万円未満	6万円~8万円未満	8万円~10万円未満	10万円~15万円未満	15万円~20万円未満	20万円~30万円未満	30万円~40万円未満	40万円~50万円未満	50万円~70万円未満	70万円~100万円未満	100万円以上	不明	平均(万円)
全体(2009)	518	9.7	16.6	15.3	12.0	13.1	6.4	6.9	2.7	2.9	1.0	1.7	2.9	8.9	203
個人	431	11.6	19.7	16.7	12.1	13.7	5.8	5.3	3.0	1.4	0.7	0.2	1.2	8.6	123
法人	85	-	1.2	8.2	11.8	9.4	9.4	15.3	1.2	10.6	2.4	9.4	11.8	9.4	612
全体(2006)	407	12.3	15.7	15.0	9.6	13.0	5.9	3.4	3.2	2.9	2.0	1.5	1.7	140	
全体(2003)	657	13.2	13.2	16.1	7.8	13.2	6.1	5.9	4.1	2.9	2.3	1.7	1.5	182	

4. 歯科技工士の1日平均稼働人数(平成21年度6月期)

集計数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	不明
全体(2009)	518	-	58.5	21.6	4.2	2.7	1.2	2.1	9.7	
個人	431	-	66.4	20.2	2.3	1.4	-	0.2	9.5	
法人	85	-	20.0	29.4	12.9	9.4	7.1	11.8	9.4	
全体(2006)	407	1.0	53.3	20.9	5.7	3.4	1.5	2.2	12.0	
全体(2003)	657	-	55.4	20.7	7.0	3.5	1.1	1.4	11.0	

5. 1ヶ月の材料費(平成21年度6月期)

集計数	3万円未満	3万円~5万円未満	5万円~8万円未満	8万円~10万円未満	10万円~15万円未満	15万円~20万円未満	20万円~30万円未満	30万円~40万円未満	40万円~50万円未満	50万円~70万円未満	70万円~100万円未満	100万円以上	不明	平均(万円)			
															(%)		
全体(2009)	518	7.5	12.4	16.2	8.3	27.6	5.8	1.7	2.7	1.4	0.6	0.8	0.6	13.3	28.5		
個人	431	8.8	14.2	17.6	10.0	26.5	5.3	1.4	1.4	0.9	-	0.7	0.2	-	12.5	20.0	
法人	85	1.2	3.5	9.4	-	34.1	8.2	3.5	9.4	2.4	3.5	1.2	2.4	3.5	1.2	16.5	72.6
全体(2006)	407	9.6	11.3	17.0	6.9	24.3	5.9	3.4	2.9	0.7	0.5	-	-	0.2	0.7	18.0	
全体(2003)	657	9.0	11.4	16.3	6.1	23.1	8.7	3.5	1.5	0.8	0.8	0.3	0.2	0.2	0.8	26.0	

6. 年間経費

●役員報酬

集計数	1万円未満	1万円~2万円未満	2万円~3万円未満	3万円~4万円未満	4万円~5万円未満	5万円~6万円未満	6万円~7万円未満	7万円~8万円未満	8万円~10万円未満	10万円~15万円未満	15万円~20万円未満	20万円以上	不明	平均(万円)
全体(2009)	518	1.4	5.6	8.9	11.8	7.5	5.4	3.3	1.7	2.3	3.5	1.0	47.7	488
全体(2006)	407	5.7	4.9	8.8	11.1	5.9	4.4	4.7	1.2	3.7	4.4	0.7		461
全体(2003)	657	4.1	3.8	6.2	9.0	7.5	5.8	4.9	2.3	3.0	3.8	0.6		497

●給与・賞金総額

集計数	1万円未満	1万円~5万円未満	5万円~10万円未満	10万円~15万円未満	15万円~20万円未満	20万円~30万円未満	30万円~40万円未満	40万円~50万円未満	50万円~70万円未満	70万円~100万円未満	100万円以上	不明	平均(万円)	
														(%)
全体(2009)	518	2.1	5.4	7.7	6.6	6.6	5.2	4.8	2.9	3.5	3.9	4.4	46.9	887
全体(2006)	407	4.2	6.4	6.1	4.7	6.9	5.9	3.2	3.9	3.7	4.7	5.9		727
全体(2003)	657	2.0	4.6	5.2	5.6	5.8	5.3	3.0	3.3	5.5	6.1	5.0		882

◎消耗品費 (%)

集計数	%													平均 (万円)
	1 2 0 万 円 未 満	満 0 4 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	4 満 0 0 万 円 未 満	6 満 0 0 万 円 未 満	8 満 0 0 万 円 未 満	円 0 2 0 万 円 未 満	1 円 0 2 0 万 円 未 満	2 円 0 2 0 万 円 未 満	円 5 0 0 万 円 未 満	円 5 0 0 万 円 未 満	1 円 5 0 0 万 円 未 満	5 円 0 0 万 円 未 満	
全体(2009)	518	6.6	8.9	8.9	10.2	6.2	22.8	6.4	2.9	4.6	4.4	3.7	14.5	234
全体(2006)	407	7.6	12.8	9.3	6.9	5.7	20.9	6.1	1.5	4.9	5.2	2.2	172	
全体(2003)	657	7.0	8.1	7.6	9.1	5.8	19.6	3.7	2.9	6.1	7.3	2.0	205	

◎租税公課 (%)

集計数	%													平均 (万円)
	満 1 0 万 円 未 満	1 満 0 2 万 円 未 満	未 2 満 0 3 万 円 未 満	2 未 満 0 4 万 円 未 満	3 未 満 0 5 万 円 未 満	4 未 満 0 6 万 円 未 満	5 未 満 0 7 万 円 未 満	6 未 満 0 8 万 円 未 満	円 7 0 1 万 円 未 満	円 1 0 2 万 円 未 満	円 2 0 3 万 円 未 満	円 2 0 3 万 円 未 満	円 3 0 0 万 円 未 満	
全体(2009)	518	13.9	20.1	13.3	7.9	4.6	4.6	1.9	6.2	5.2	1.0	1.9	19.3	51
全体(2006)	407	14.3	23.3	13.5	10.8	3.9	4.7	2.0	4.2	3.4	1.2	1.0	34	
全体(2003)	657	11.1	21.3	13.2	8.5	3.7	5.2	2.4	3.5	4.9	2.0	1.5	46	

◎賃借料・地代家賃 (%)

集計数	%													平均 (万円)
	満 1 0 万 円 未 満	未 1 満 0 2 万 円 未 満	2 未 満 0 3 万 円 未 満	4 未 満 0 4 万 円 未 満	6 未 満 0 5 万 円 未 満	円 8 0 1 万 円 未 満	万 1 0 2 万 円 未 満	万 1 0 2 万 円 未 満	万 2 0 3 万 円 未 満	万 2 0 3 万 円 未 満	万 2 0 3 万 円 未 満	万 3 0 0 万 円 未 満	万 5 0 0 万 円 未 満	
全体(2009)	518	10.8	6.8	4.6	6.2	4.8	7.7	2.9	1.0	1.0	2.9	0.8	50.6	106
全体(2006)	407	12.5	5.9	3.7	4.9	2.2	5.4	3.2	2.0	2.0	2.0	1.2	97	
全体(2003)	657	10.2	9.3	3.3	5.5	3.3	5.6	2.6	2.4	0.6	2.7	1.4	108	

◎水道光熱費 (%)

集計数	%													平均 (万円)
	満 1 0 万 円 未 満	未 1 満 0 2 万 円 未 満	2 未 満 0 3 万 円 未 満	3 未 満 0 4 万 円 未 満	4 未 満 0 5 万 円 未 満	5 未 満 0 6 万 円 未 満	6 未 満 0 7 万 円 未 満	7 未 満 0 8 万 円 未 満	8 未 満 0 9 万 円 未 満	円 9 0 1 万 円 未 満	円 9 0 1 万 円 未 満	円 1 0 0 万 円 未 満	円 1 0 0 万 円 未 満	
全体(2009)	518	5.2	15.4	24.1	16.0	6.9	5.0	4.1	1.5	1.2	0.8	4.8	14.9	39
全体(2006)	407	5.4	19.9	20.1	12.8	9.6	4.2	2.7	2.0	2.2	0.7	5.9	38	
全体(2003)	657	3.3	17.2	20.5	12.0	8.7	4.0	3.8	2.1	1.8	0.5	6.1	43	

◎外注費 (%)

集計数	%													平均 (万円)
	1 2 0 万 円 未 満	2 4 0 万 円 未 満	4 6 0 万 円 未 満	満 1 0 万 円 未 満	6 満 0 2 万 円 未 満	未 1 満 0 3 万 円 未 満	未 2 満 0 4 万 円 未 満	未 3 満 0 5 万 円 未 満	未 4 満 0 6 万 円 未 満	円 5 0 1 万 円 未 満	円 5 0 1 万 円 未 満	円 1 0 0 万 円 未 満	円 1 0 0 万 円 未 満	
全体(2009)	518	0.6	2.3	2.9	3.5	7.3	4.8	1.7	2.5	4.4	10.6	2.3	56.9	171
全体(2006)	407	1.2	2.7	4.2	1.7	9.8	3.7	3.4	2.7	5.2	8.4	2.2	129	
全体(2003)	657	0.2	1.7	2.1	2.6	5.2	4.3	2.7	1.1	6.4	10.0	1.7	184	

◎減価償却費 (%)

集計数	%													平均 (万円)
	1 1 0 万 円 未 満	満 1 0 2 万 円 未 満	2 満 0 3 万 円 未 満	3 満 0 4 万 円 未 満	4 満 0 5 万 円 未 満	5 満 0 6 万 円 未 満	未 6 満 0 7 万 円 未 満	未 7 満 0 8 万 円 未 満	未 8 満 0 9 万 円 未 満	円 1 0 2 万 円 未 満	円 1 0 2 万 円 未 満	円 2 0 3 万 円 未 満	円 5 0 0 万 円 未 満	
全体(2009)	518	4.1	8.3	7.1	5.6	5.4	12.5	9.5	11.4	3.5	0.8	0.8	31.1	91
全体(2006)	407	1.2	1.5	3.7	1.5	6.9	5.7	8.6	3.9	21.4	12.8	1.0	66	

IV. 歯科技工料金について

1. 歯科技工料金の低廉化

	集計数	うくそう思	うあそ思	まえそ思	言ならいも	どちならいも	思わないう	あまないう	わないう	全不明
全体(2009)	518	40.9	25.7	14.5	4.8	0.6	13.5			
個人	431	39.2	27.4	14.4	4.9	0.7	13.5			
法人	85	49.4	17.6	15.3	4.7	-	12.9			
全体(2006)	407	47.4	26.8	8.8	4.9	0.2	11.8			
全体(2003)	657	60.3	26.2	4.7	4.4	0.9	3.5			

2. 大臣告示料金の採用

●大臣告示の認知

	集計数	知っている	知らない	不明
全体(2009)	518	93.2	5.2	1.5
個人	431	93.5	5.1	1.4
法人	85	92.9	5.9	1.2

●告示料金の採用状況

	集計数	で大臣告示料金を採用している	大臣告示料金を採用していない	不明
全体(2009)	483	17.4	82.2	0.4
個人	403	15.9	83.9	0.2
法人	79	25.3	73.4	1.3

	集計数	大臣告示料金を採用している	大臣告示料金を採用していない	不明
全体(2006)	407	18.4	75.9	5.7
全体(2003)	657	17.4	77.5	5.2

03年、06年は認知者以外も含めて全員に質問

V. 労務状況(事業主・家族専従者以外の従業員雇用の歯科技工所)

1. ボーナス

●支給の有無

	集計数	支給した	支給しない	不明
全体(2009)	253	44.7	54.2	1.2
個人	179	39.1	59.2	1.7
法人	73	57.5	42.5	-
全体(2006)	164	44.5	54.9	0.6
全体(2003)	239	60.3	35.1	4.6

●支給月数

	集計数	未満5ヶ月	5ヶ月以上	不明	平均(ヶ月)					
全体(2009)	113	15.0	7.1	41.6	15.0	18.6	0.9	-	-	1.8
個人	70	18.6	7.1	38.6	14.3	18.6	1.4	-	-	1.4
法人	42	7.1	7.1	47.6	16.7	19.0	-	-	-	2.4
全体(2006)	73	5.5	19.2	26.0	37.0	5.5	4.1	2.7		
全体(2003)	144	18.8	22.2	43.1	11.1	3.5	0.7			2.1

03年は1ヵ月未満で1カテゴリー

2. 昇給状況

●昇給の状況

	集計数	減給した	前年度と同額	1回昇給した	2回昇給した	その他の昇給	不明
全体(2009)	253	5.9	34.0	34.0	3.2	4.0	19.0
個人	179	6.1	36.9	25.1	3.9	4.5	23.5
法人	73	5.5	26.0	56.2	1.4	2.7	8.2
全体(2006)	164	10.4	40.2	32.3	2.4	7.9	6.7
全体(2003)	239	6.3	37.2	39.7	2.1	3.3	11.3

●昇給率(月給に対して)

	集計数	△未満10%	△未満10%未満	0%未満	10%未満	10%以上	不明			
全体(2009)	116	0.9	4.3	32.8	6.9	6.9	9.5	16.4	20.7	1.7
個人	69	1.4	4.3	34.8	7.2	7.2	10.1	15.9	15.9	2.9
法人	47	-	4.3	29.8	6.4	6.4	8.5	17.0	27.7	-
全体(2006)	129	0.8	3.9	60.5	3.9	7.0	6.2	10.1	7.0	0.8
全体(2003)	200	0.5	2.0	60.5	4.0	3.5	7.5	15.0	7.0	

03年は10%以上で1カテゴリー

3. 就労時間中のケガについての労災保険適用

	集計数	(%)		
		ある	ない	不明
全体(2009)	253	13.8	75.9	10.3
個人	179	10.1	78.2	11.7
法人	73	23.3	69.9	6.8
全体(2006)	164	18.3	76.2	5.5

VI. 構造設備基準と運営指針について

1. 構造設備基準について

●現状

	集計数	(%)			
		運営内容を すでに 行った て いる 工 所	運営内容を 備に 沿った て いる 工 所	詳細内容 に ついて 、 もう 少 し	不明
全体(2009)	518	30.7	27.8	35.3	6.2
個人	431	29.0	29.7	35.7	5.6
法人	85	40.0	18.8	34.1	7.1

●基準の適合度

	集計数	(%)			
		すでに 基準を 満た している	一部に 改善の 余地 がある	移転を 含めた 改善を 行う 必要 がある	不明
全体(2009)	518	40.5	46.5	5.4	7.5
個人	431	38.1	49.4	5.3	7.2
法人	85	54.1	31.8	5.9	8.2

2. 歯科技工録について

●作成状況

	集計数	(%)				
		作成 している モデル で	独自 モデル で	必要 事項 を 別 形式 で	作成 する 用意 が あ る	不明
全体(2009)	518	6.6	5.4	7.3	15.3	59.3
個人	431	6.5	5.3	7.0	15.5	59.9
法人	85	7.1	5.9	9.4	14.1	56.5

●作成・記録方法

	集計数	(%)			
		紙媒体 (手書き)	電子 媒体	紙 媒体 と 電 子 媒体	不明
全体(2009)	179	48.6	33.0	17.3	1.1
個人	148	50.0	31.1	17.6	1.4
法人	31	41.9	41.9	16.1	-

VII. 歯科技工業の将来

1. 歯科技工業の将来

	集計数	(%)			
		歯科 医 療 の 確 立 を 図 る	追 求 と し て の 確 立 を 図 る	ど ち ら も い え な い	不 明
全体(2009)	518	74.5	4.8	13.7	6.9
20代	2	100	-	-	-
30代	130	67.7	6.9	17.7	7.7
40代	159	74.8	5.0	15.7	4.4
50代	115	82.6	-	13.0	4.3
60歳以上	85	76.5	8.2	3.5	11.8

勤務者用

「2009 歯科技工士実態調査」

<勤務者会員用調査票>

先日(審査)でお知らせいたしました「アンケート用紙」をお届けいたします。

- この調査は、①社会に歯科技工士の実態を示す、②歯科技工士の意識を本会誌に活かすことを目的に、3年毎に行なわれているものです。

今回は、あなた様をはじめ会員から選ばれた3000名の方への調査となりました。以下の用紙にお考えやデータを入力され、ご返送ください。

<ご返送期日>

平成21年

7月 31日(金) までに

同封の返信用封筒で記入名を記入せず、投函して下さい。

* アンケートの原封は外部の調査専門機関(朝アクロス)が行ないます。

* あなたは、勤務者から無作為に選ばれました。

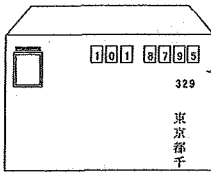
* あなたが自覚者に同意している場合には、そのことを大きく記入し、送付封筒と共に、これを返信用封筒で返送してください。改めて自覚者用を送付いたします。受取後、開封を促さずに返信願います。

* 回答方法などに質問のある場合には、Tel 03-5822-0311(朝アクロス)で受け付けます。 担当: 金子

記入には30分から60分以上を要するかと恐れず

- * 返信用封筒の記入方法は、「選択式」と「記入式」とがあります。 * 返信用封筒は歯科技工士の会費、徴収金として「原封」と委託しました。 * 選択式にどうしても合致するものがない場合には、「その他」に○を付け、余白にお考えを記入してください。

調査票送付については、同封の返信用封筒をご利用ください。



返信用封筒に印字されている「329」という数字は「料金を受取人住所情報における郵便番号」で、すべての回答者に共通です。 個人を特定する番号ではありません。 ご安心ください。

問4. パソコンについておたずねします。

a. あなた自身はパソコンを使いますか。(〇印は1つ)

- 1. 経験1年以上である
2. 経験1年未満である
3. パソコンを使っていない

b. あなたは、インターネットを利用していますか。(〇印は1つ)

- 1. 自身で使っている
2. 同居家族が利用し、自分もそれを使う
3. 同居家族は利用しているが、自分は使わない
4. 同居家族も自分も使わない

次に、あなたの歯科技工に関する「継続的学習」と「業界情報」についておたずねします

問5. あなたは、学術大会などのプログラムに興味がありますか。(優先する2つに〇印を)

- 1. 特別講演 4. P対発表 7. パネルディスカッション
2. 一般講演 5. 露材展示 8. その他
3. テーマ別にか 6. デモストラシ

問6. 歯科技工に関するあなたの継続的な学習についておたずねします。

- a. あなたは歯科技工に関し、ここ3年間に、どのような手段で学習しましたか。(関わったものを全てに〇印をつけてください)
b. それぞれに要する1年間での、おおよその経費(交通宿泊費含む)はいくらでしたか。
c. それには、どの程度満足しましたか。(それぞれ〇印は1つ)

1 2 3 4 5
か ま 音 や か
な り あ 通 や な
り 満 足 不 満
満足 不足

Table with columns for learning methods (a), expenses (b), and satisfaction (c) for various learning activities.

まず、あなたの普段の生活についておたずねいたします

問1. あなたは現在「次の事から」について、どの程度満足していますか。(それぞれ〇印は1つ)

Table for Q1 with 10 items and 6-point satisfaction scale (1-6).

問2. あなたの1週間の睡眠を含めた就労時間(通勤、休養、食事などの時間を除く)は、平均すると何時間ぐらいですか。(時間数をお書きください)

週に [] 時間ぐらい

問3. あなたの平成20年度における年間休日(就業規則や労働契約で定められた休日、有給休暇を含まない)は決まっていますか。また、決まっている場合は年間何日の休日がありますか。

1. 決まっている [] 年間に [] 日ぐらい 2. 決まっていない

付問1. 平成20年度、1年間にあなたが休日に仕事のために出社(就業)した日は、年間に何日ありましたか。(1回もない場合は0を記入してください)

[] 日ぐらい

付問2. あなたの会社や勤務先における休日の形態は以下のどれに該当しますか。(〇印は1つ)

- 1. 週休1日制 5. 休日が決まっていない
2. 週休1日半制 6. その他()
3. 完全週休2日制
4. その他の週休2日制 (隔週、月2回、月1回の週休2日制など)

問7. 「歯科情報」を当然としたうえで、今年度も継続し学習したいのは、どのような分野ですか。

Table for Q7 with two columns: 教養部門 and 専門部門, each with 10 sub-items.

問8. これからの定期刊行物の記事として、あなたが今年度も継続し「情報」を入手したいと望むのは、どのような分野ですか。

Table for Q8 with two columns: 教養部門 and 専門部門, each with 10 sub-items.

歯科技工界と社会政策についてうかがいます

問9. 歯科技工関連などの法令改正が行われてきました。そのうち下記の改正を、あなたはどう評価しますか。(それぞれ〇印は1つ)

Table with 3 columns: 改正評価をする, 2 改正評価をできない, 3 わからぬ. Rows include: a 昭和41年(1966年)養成所への入学資格が、中学校卒業から高校卒業になった, b 昭和45年(1970年)「歯科技工所」が、医療会館公原の貸出対象になった, c 昭和49年(1974年)養成所の一学級定員が、「30人以下」から「50人以内」へ変更された, d 昭和53年(1978年)歯科技工士が個人で発行する簡取書に「収入印紙は不要」との記載を付した, e 昭和56年(1981年)歯科技工士資格が、都道府県知事免許から「厚生大臣免許」となった, f 平成6年(1994年)歯科技工法が「歯科技工士法」となり、大学化が可能となった, g 平成15年(2003年)養成所の一学級定員が、「40人以内」から「35人以内」へ変更された, h 平成16年(2004年)歯科歯工士学校養成所指定規則の一部変更(卒業年限が「2年以上」、平成22年完全実施), i 平成21年(2009年)歯科技工士法の一部改正(第3条の条文中「歯科技工士試験」が「歯科技工士国家試験」に変更される。平成21年9月1日から施行)

問10. 現在、下記の事項などに関し法令改正の必要性などが指摘されています。これらについて、あなたはどう考えますか。(それぞれ〇印は1つ)

Table with 3 columns: 進めたい, 進めたくない, わからぬ. Rows include: a 歯科技工士学校(養成所)における指定採得時間の拡大(「最低三年制」への移行), b 昭和57年以降「当分の間」として続く都道府県による資格試験を、「全国統一試験」へ, c 歯科技工所の新規開設条件や運営検査となりうる、「構造設備基準」の制定, d 無免許歯科技工への取り締まりの強化(業務独占の維持), e 国外への歯科技工再委託を取り締まる法令の整備, f 医療保険範囲における「歯科技工報酬」の明確化

次に、あなたの社会関心と行動についてうかがいます

問11. 法令改正とは、社会政策(政治)の具体的な表れです。あなたは、社会政策(政治)に関心がありますか。(〇印は1つ)

- 1. はい 2. いいえ

問12. あなたは現在、特定の政党を支持していますか。(〇印は1つ)

- 1. はい 2. いいえ

付問1 その政党はどこですか。(〇印は1つ)

- 1. 自由民主党 2. 民主党 3. 公明党 4. 日本共産党 5. 社会民主党 6. 国民新党 7. 新党日本 8. その他 ()

問13. あなたは今、歯科技工を続けるうえで、何が最も「問題」ですか。(優先する2つに〇印を)

- 1. 健康保険制度への位置付け 2. 長時間労働 3. 低価格(低賃金) 4. 受注(仕事)量の減少 5. 健康問題 6. 経営(廃業)の可能性 7. 職場内人間関係 8. 負債(借金) 9. 後継者(ラボの後継・診療所の後継勤務者) 10. その他()

問14. あなたは、「経営・転職」について、どう感じていますか。(〇印はそれぞれ1つ)

(1) 経営: 歯科技工業から別業、他業に移る気持がある

- 1. 非常に感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

付問1 「感じる」とお答えになった方におうかがいします。その理由は何ですか。(優先する二つに〇印を)

- 1. 給与 2. 労働時間 3. 厚生面 4. 雇用条件 5. 健康面 6. 将来性 7. 人間関係 8. 仕事の内容 9. その他()

(2) 転職: 今の職場を離れ、他の事業所で歯科技工を行う気持がある

- 1. 非常に感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

付問2 「感じる」とお答えになった方におうかがいします。その理由は何ですか。(優先する二つに〇印を)

- 1. 給与 2. 労働時間 3. 厚生面 4. 雇用条件 5. 健康面 6. 将来性 7. 人間関係 8. 仕事の内容 9. その他()

次に、あなたの就業時間中のケガや病気の経験についてうかがいます

問15. あなたは今までに、通勤を含む就業時間中にケガや病気をしたことがありますか。(〇印は1つ)

- 1. ある 2. ない

付問1. 「ある」とお答えになった方におうかがいします。それはどの程度のケガや病気ですか。(〇印は1つ)

- 1. 医療機関で治療を受ける程度 2. キズ絆創膏を貼る程度 3. その他

付問2. 「医療機関で」とお答えになった方におうかがいします。部位と病名は何でしたか。(AとCそれぞれに〇印は1つでも)(病名とは、医療機関において主として治療または検査した病名を言います。)

Table with 3 columns: A. 部位, B. 病名, C. 傷病分類. Rows include: 1. 頭部(耳・鼻を含む), 2. 頸部, 3. 胴体(背・胸を含む), 4. 上肢(手・腕を含む), 5. 下肢(足・膝を含む), 6. 複合部位, 7. 一般的傷病(伝染性、呼吸器), 8. 部位不明, 9. その他(), 1. 負傷に起因する傷病(切り傷、火傷、骨折等), 2. 物理的因子による傷病(高温、騒音等), 3. 作業態様に起因する傷病(腰痛、肩痛等), 4. 化学物質による傷病(中毒、炎症等), 5. 感染症, 6. その他業務上の傷病()

Form for detailed injury/illness information: (災害の場合は、発生時の状況及び原因を解る範囲で記入してください) ①いつ(曜日、季節、時間帯等) ②どのような場所で ③どのような作業をしている時に ④どのような物または環境に ⑤どのような不安定な又は有害な状況があった ⑥どのような災害が発生したか

【勤務者用設問】

ここでは、あなたの「職場」についてうかがいます

問1. あなたの、現在の勤務先の種別をお答えください。(〇印は1つ)

- 1. 歯科技工所 2. 歯科医院(診療所) 3. 国公立病院 4. 私立立病院 5. 歯科技工士養成機関 6. 企業内医療機関(診療所・診療室含む) 7. 研究・研技機関 8. 歯科商社・メーカー・商店 9. その他()

問2. あなたの、現在の勤務先の就業数についてお答えください。

- A. あなたの勤務先の総就業数は何人ですか。(人数を記入してください) B. 総就業数(A)のうち、歯科技工士の方は何人ですか。(人数を記入してください) C. 歯科技工士(B)のうち、女性の方は何人ですか。(人数を記入してください) 下にそれぞれの人数をお書きください。(該当者が1人もいない場合は0をお書きください) A. 総就業数 [] 人 B. 歯科技工士の総数 [] 人 C. Bのうち、女性の歯科技工士数 [] 人

問3. あなたの勤務先では、平成20年4月から21年3月までの1年間に歯科技工士を採用しましたか。(〇印は1つ)

- 1. 採用した 2. 採用していない

付問1. 「新卒・既卒」別に「人数」を記入してください。

- 1. 新卒 [] 人 2. 既卒 [] 人

(この場合の「新卒」とは平成20年3月卒業者とします)

歯科技工界と社会政策についてうかがいます

問9. 歯科技工関連などの法令改正が行われてきました。そのうち下記を、あなたはどうか評価しますか。(それぞれ〇印は1つ)

Table with 4 columns: Item, 1 (改正を肯定する), 2 (改正を肯定できない), 3 (わからない). Rows include items from a to i regarding dental technician regulations and standards.

問10. 現在、下記の事柄などに関し法令改正の必要性などが指摘されています。これらについて、あなたはどうか考えますか。(それぞれ〇印は1つ)

Table with 4 columns: Item, 1 (温めてみるべき), 2 (温めはるべき), 3 (わからない). Rows include items from a to f regarding dental technician education and regulations.

次に、あなたの社会関心と行動についてうかがいます

問11. 法令改正とは、社会政策(政治)の具体的改変です。あなたは、社会政策(政治)に関心がありますか。(〇印は1つ)

- 1. はい 2. いいえ

問12. あなたは現在、特定の政党を支持していますか。(〇印は1つ)

- 1. はい 2. いいえ

付問1 その政党はどこですか。(〇印は1つ)

- 1. 自由民主党 4. 日本共産党 7. 新党日本
2. 民主党 5. 社会民主党 8. その他
3. 公明党 6. 国民新党 ()

問13. あなたは今、歯科技工を続けるうえで、何が最も「問題」ですか。(優先する2つに〇印を)

- 1. 健康保険制度への位置付け 6. 転業(廃業)の可能性
2. 長時間労働 7. 職場内人間関係
3. 低価格(低賃金) 8. 負債(借金)
4. 労務(仕事)量の減少 9. 後継者(ラボの後継・診療所の後継勤務者)
5. 健康問題 10. その他()

問14. あなたは、「転業・転職」について、どう感じていますか。(〇印はそれぞれ1つ)

(1) 転業: 歯科技工界から離れ、他業に移る気持がある

- 1. 非常に感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

付問1 「感じる」とお答えになった方におうかがいます。その理由は何ですか。(優先する二つに〇印を)

- 1. 給与 4. 雇用条件 7. 人間関係
2. 労働時間 5. 健康面 8. 仕事の内容
3. 厚生面 6. 将来性 9. その他()

(2) 転職: 今の職場を離れ、他の事業所で歯科技工を行う気持がある

- 1. 非常に感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

付問2 「感じる」とお答えになった方におうかがいます。その理由は何ですか。(優先する二つに〇印を)

- 1. 給与 4. 雇用条件 7. 人間関係
2. 労働時間 5. 健康面 8. 仕事の内容
3. 厚生面 6. 将来性 9. その他()

次に、あなたの就業時間中のケガや病気の経験についてうかがいます

問15. あなたは今までに、通勤を含む就業時間中にケガや病気をしたことがありますか。(〇印は1つ)

- 1. ある 2. ない

付問1. 「ある」とお答えになった方におうかがいます。それはどの程度のケガや病気ですか。(〇印は1つ)

- 1. 医療機関で治療を受ける程度 2. キズ絆創膏を貼る程度 3. その他

付問2. 「医療機関で」とお答えになった方におうかがいます。部位と傷病名は何でしたか。(AとCそれぞれに〇印はいくつでも)(傷病名とは、医療機関において主として治療または検査した病名を言います。)

Table with 4 columns: A. 部位, B. 傷病名, C. 傷病分類. Rows include items like 1. 頭部, 2. 頸部, 3. 胴体, etc.

Form for recording accident details: (災害の場合は、発生時の状況及び原因を詳する範囲で記入してください) ①いつ(曜日、季節、時間帯等) ②どのような場所で ③どのような作業をしている時に ④どのような作業または環境に ⑤どのような不安定な又は有害な状況があった ⑥どのような災害が発生したか

【自営用設問】

ここからは、この国の「歯科技工環境」を改善するためのデータ調査です。会計についての質問もあります。できれば「決算書・台帳」などをご用意ください。

それではまず、「歯科技工所の概要」についてうかがいます

問1. 歯科技工所の経営形態をお答えください。(〇印は1つ)

- 1. 個人 2. 法人

付問1. 「法人」とお答えになった方におうかがいます。その種別は何でしょう。(〇印は1つ)

- 1. 株式会社 2. 有限会社 3. その他()

問2. あなたは、平成21年7月31日現在で、以下それぞれ何年目になりますか。(それぞれ〇印は1つ)

Table with 3 columns: 1. 歯科技工士として 2. 現在の技工所を開設して 3. 現在. Rows show years from 1 year to 40 years or more.

問3. 現在、あなたの歯科技工所では、常勤就業者は何人ですか。
(専業主と家族専従者を省みます。年齢ごとに記入し、合計してください)

	男性	女性	人	人	人
1. 歯科技工士	<input type="text"/>	<input type="text"/>			
2. 事務職員	<input type="text"/>	<input type="text"/>			
3. 外交(営業)職員	<input type="text"/>	<input type="text"/>			
4. その他()	<input type="text"/>	<input type="text"/>			
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	= <input type="text"/> 人

総人数

問4. 「女性就業者がいる」とお答えになった方におうかがいます。
あなたの事務所には女性専用のトイレ・更衣室がありますか。(それぞれ〇印は1つ)

	ある	ない
トイレ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
更衣室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問5. あなたの事務所には育児休暇(休業)・介護休暇(休業)の制度がありますか。(それぞれ〇印は1つ)

	ある	ない	検討中
育児休暇	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護休暇	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問6. あなたの歯科技工所で日常的に行っている「項目」についてお答えください。
(行っている全てに〇印)

項目	番号に〇
ポーセレン系	1
クラウン・ブリッジ系	2
有床鑲歯系(除く:金床)	3
金床系	4
矯正系	5
顎顔面矯正・インプラント系	6
CAD/CAM	7
その他()	8

問7. 以下のなかで、あなたの使用する歯科技工指示書に、常に記載されているものに〇印をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 設計 | 6. 歯科技工所の名称 |
| 2. 作成の方法 | 7. 患者の氏名 |
| 3. 使用材料 | 8. 時期 |
| 4. 発行の年月日 | 9. その他() |
| 5. 発行した歯科医師の住所及び氏名 | |

次に、歯科技工所経営(決算)についてうかがいます

問8. あなたの歯科技工所では、平成21年度(この春)に「新卒歯科技工士」を採用しましたか。(〇印は1つ)

1. 採用した 2. 採用していない

「採用した」とお答えになった方にうかがいます。

付問1. それは、何人ですか。

人

付問2. その初任給はいくらですか。(時間外・通勤・家族手当は除いてください)

万 千円

付問3. そのうち基本給はいくらですか。

万 千円

問9. あなたの歯科技工所では、平成20年7月～平成21年6月までの間に「既卒者(いわゆる経験者)」を採用しましたか。(〇印は1つ)

1. 採用した 2. 採用していない

付問1. 「採用した」とお答えになった方にうかがいます。それは何人ですか。

人

問10. あなたの歯科技工所では、平成20年7月～平成21年6月までの間に「勤続退社等(いわゆるリストラ経験)」をされましたか。(〇印は1つ)

1. した 2. していない

問11. あなたの歯科技工所の、前年度(平成20年度1年間)の総売上はいくらでしたか。

1桁に1桁の数字を記入してください
約 万円

付問1. そのうち、(たとえば材料売上などの)「歯科技工対価ではない売上」はいくらでしたか。

1桁に1桁の数字を記入してください
約 万円

問12. 前年度(平成20年度1年間)、次の「経費」はいくらでしたか。

- a. 役員報酬(いわゆる「社長」などの給与総額)
約 万円
- b. (役員分を除く)従業員給与・賞金総額(法定福利・年金・退職金積立等を含む)
約 万円
- c. 消耗品費(いわゆる「材料代」、修理費含む)
約 万円
- d. 租税公課(事業税・固定資産税・自動車税・印紙代などの総額)
約 万円
- e. 賃借料・地代家賃(リース代、賃貸などの総額)
約 万円
- f. 水道光熱費
約 万円
- g. 外注費(歯科技工指示書に基づく外注)
約 万円
- h. 減価償却費
約 万円
- i. その他(荷運賃・通信交通・交際・損害保険料など)の合計
約 万円

問13. あなたの歯科技工所の、平成21年6月期(1ヶ月間)の売上合計はいくらでしたか。

1桁に1桁の数字を記入してください

約 万円

付問1. その期間の歯科技工士数は、(稼働日1日平均)何人でしたか。

歯科技工士 人

付問2. その期間の「材料費(金床除く、消耗品費)」は、いくらでしたか。

約 万円

あなたの歯科技工所での「歯科技工料」についてうかがいます

いわゆる「大臣告示」とあなたの歯科技工所での「歯科技工料」についてうかがいます

問14. いわゆる「大臣告示」(製作技術点数のおおむね70%)を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

付問1. 医療保険に係るあなたの歯科技工所の料金は、おおむね「大臣告示」料金ですか。

1. 「大臣告示料金」である
2. 「大臣告示料金」ではない

問15. 次にあげるそれぞれの歯科技工について平成21年6月現在の料金をご記入下さい。

※材料や消費税額を加えずに、歯科技工料のみを記入して下さい。
※ニッケルコバルトなどで合金料込みの場合には合金料当額を差し引いて記入して下さい。

項目	保険に係る歯科技工料	保険外の歯科技工料
インレー(単純なもの)	円	円
インレー(複雑なもの)	円	円
3/4冠	円	円
4/5冠	円	円
全部縁齲冠	円	円
硬質レジン前装飾齲冠	円	円
鍍金ボンテック	円	円
金銀装飾ボンテック	円	円
硬質レジン前装飾ボンテック	円	円
メタルボンド(内装飾付歯冠:通常型)		円
ハイブリッド型硬質レジン前装飾齲冠		円
有レジン歯床		
1歯～4歯	円	円
5歯～8歯	円	円
9歯～11歯	円	円
12歯～14歯	円	円
総歯冠	円	円
有床鑲歯可摘性		
1歯～4歯	円	円
9歯～11歯	円	円
総歯冠	円	円
クラスプ・バー		
鍍金双歯鈎(金バラ)	円	円
鍍金双歯鈎(ニッケル・コバルトクロム)	円	円
鍍金両翼鈎(金バラまたは合金床)	円	円
鍍金両翼鈎(ニッケル・コバルトクロム)	円	円
鍍金双歯鈎	円	円
鍍金両翼鈎(レスト付)	円	円
鍍金両翼鈎(レスト無)	円	円
歯鈎バー(特殊型)	円	円
鍍金バー(ニッケル・コバルトクロム)	円	円

※ニッケルコバルトなどで合金料込みの場合には合金料当額を差し引いて記入して下さい。

問16. 最近あなたの地域では、適当競争による歯科技工料金の低廉化(いわゆるダンピング)が行われていると思いませんか。(〇印は1つ)

1. 全くそう思う 2. まあそう思う 3. どちらとも言えない 4. あまりそう思わない 5. 全くそう思わない

ご自身と家族等従業者で歯科技工所を営んでいる方は、以下をとおしてのあと、**2.2の△**を選んでください。
ご自身と家族等従業者以外の従業員を雇用されている経営者は、このまま下の質問にお答えください。

あなたの歯科技工所の労働状況を教えてください

問17. あなたは、平成20年度（2008年4月～2009年3月）に1回以上ボーナスを支給しましたか。
(〇印は1つ)

1. 支給した 2. 支給しない

付問1. 「支給した」とお答えになった方におうかがいします。

その額は平均すると、年間工月の基本給の何ヶ月分でしょう。(〇印は1つ)
1. 0.5ヶ月未満 3. 1～2ヶ月未満 5. 3～4ヶ月未満 7. 5～6ヶ月未満
2. 0.5～1ヶ月未満 4. 2～3ヶ月未満 6. 4～5ヶ月未満 8. 6ヶ月以上

問18. あなたの歯科技工所では、2008年4月～2009年3月の間に従業員を「昇給」させましたか。
(〇印は1つ)

1. 昇給した 3. 1回昇給した 5. その他の昇給
2. 前年度と同額だった 4. 2回昇給した

付問1. その「昇給額」は、平均すると基本給月額額の何%でしょう。
(「昇給額」は、「昇給」は行っていない「△」を加えて、1枠に1枠で、
必要なら、小数点1桁まで記入してください)

約 %
小丸

問19. あなたの事業所では従業員の就業時間中（通勤を含む）のケガについて労災保険を
適用したことがありますか。 2. ない
1. ある (〇印は1つ)

最後に

問20. 平成17年春に出された「構造設備基準と運営指針」についてお伺いします。
(〇印は一つ)

1. 通知内容に沿った歯科技工所運営をすでにしている
2. 通知内容に沿った歯科技工所運営の準備を行っている
3. 通知内容について、もう少し詳しく知りたい

※ 産学官民連携推進「歯科技工所の設備基準と歯科技工所における歯科技術者の養成及び品質管理指針について」(産学官民連携推進)

問21. 構造設備基準についてお伺いします。(〇印は1つ)

1. すでに基準を満たしている
2. 一部に改善の余地がある
3. 移転をきめた改善を行う必要がある

問22. 品質管理指針に定められている「歯科技工録」を作成していますか。(〇印は一つ)

1. 日技基本モデルで作成している
2. 県技独自モデルで作成している
3. 必要事項を別形式で記録している
4. 作成する用意がある
5. 作成していない

付問1 「1.～4.」とお答えになった方におうかがいします。
その作成・記録方法は阿ですか (〇印は一つ)

1. 紙媒体(手書き)
2. 電子媒体
3. 紙媒体と電子媒体の併用

問23. あなたは、この国の歯科技工業は、将来どうあるべきだと考えますか。(〇印は1つ)

1. 歯科医療としての確立を固めるべきである
2. 経済行為と割り切り、経済追求を進めるべきである
3. どちらともいえない

*** ながながとご記入いただき、本当にありがとうございました。 ***
*** この統計をひろく社会へのアピールのために用います。 ***

最後に、以下のフェイスシートの該当部分に〇印をつけて下さい。

年齢(平成21年7月31日現在)	性別	未婚
	1. 男性	2. 女性
現在、あなたの世帯に何人住んでいますか	あなたの扶養家族は何人ですか	
1. 1人	3. 3人	1. 0人
2. 2人	4. 4人以上	2. 1人
	3. 2人	4. 3人以上
歯科技工士学校以外の最終学歴		
1. 中学校	3. 短科大学	5. その他
2. 高等学校	4. 大学	
歯科技工以外の職業に就いていた年数		
1. なし	3. 2～6年未満	5. 10年以上
2. 2年未満	4. 6～10年未満	
平成20年の年収(税込:源泉徴収票や確定申告書での総額)		
1. 100万円未満	8. 450～500万円未満	15. 800～900万円未満
2. 100～200万円未満	9. 500～550万円未満	16. 900～1000万円未満
3. 200～250万円未満	10. 550～600万円未満	17. 1000～1100万円未満
4. 250～300万円未満	11. 600～650万円未満	18. 1100～1200万円未満
5. 300～350万円未満	12. 650～700万円未満	19. 1200～1500万円未満
6. 350～400万円未満	13. 700～750万円未満	20. 1500～2000万円未満
7. 400～450万円未満	14. 750～800万円未満	21. 2000万円以上
現在お住まいの都道府県		
1. 北海道	4. 宮城	7. 福島
2. 青森	5. 秋田	8. 山梨
3. 岩手	6. 山形	9. 茨城
10. 群馬	13. 東京	16. 神奈川
17. 新潟	20. 長野	23. 愛知
24. 三重	27. 京都	30. 和歌山
33. 岡山	36. 徳島	43. 香川
40. 福岡	47. 佐賀	54. 大分
61. 鹿児島	68. 沖縄	

あなた様のご協力に心から感謝いたします。

あくまでも、本調査は無記名の客観的な資料といたしますので、
お名前を記入せず、平成21年7月31日(金)までに、
同封の返信用封筒にて、ご返送ください。

ありがとうございました。

皆様のお返事は、集計され統計化します。
その統計と分析は、来年早々の「日本歯技」への掲載を予定しています。

(社) 日本歯科技工士会 調査企画部

<企画・実施>

<実施・集計・分析>

社団法人 日本歯科技工士会

株式会社 アクロス

東京都新宿区中野4丁目21-5

東京都千代田区岩本町3-7-2

TEL 03(3267)8331

TEL 03(5322)0311

FAX 03(3267)8350

FAX 03(3354)2720

調査委員

調査委員 委員長 夏島 隆彦
調査委員 副委員長 石原 隆徳
調査委員 調査員 山田 和彦

金平 智洋

中山 和彦
丸山 和正

景品応募要項

景品の応募者には、応募により抽選で景品が当たります。
景品名は景品表の裏面と別に、応募券に必要事項を記入し
ご署名の上 切り取って封筒に入れてご送付ください。

応募受付期間：
2009年7月7日～7月31日(消印有効)まで

- (社) アクロスに属した応募者がきは専用箱に保管し、後日抽選に抽選後、最良な抽選を行います。
□ 住所、氏名等の個人情報は景品以外の使用をいたしません。
□ 10名様に①～⑩の中からお好きな景品が当たります。
□ 当選者は抽選結果と名前を日本歯技に掲載させていただきます。

応募券先はこちらまで：

〒101-0032

東京都千代田区岩本町3-7-2

株式会社アクロス

「日技応募」係

景品表
キリトリ線
ご希望の
景品番号
ご希望の
景品番号
ご住所
電話番号

◎ご希望の景品リストは次のページにあります

景品表

景品表は景品表の裏面に景品名と景品番号が記載されています。
景品表の裏面に景品名と景品番号が記載されています。

① 松坂牛 上カルビ焼肉用
最高級肉牛「松坂牛」の中でも最高ランクA5ランクのみ厳選♪
脂肪結晶17%のとうりける食感を堪能下さい♪

② 本マダロ (生) 申トロ
冷凍では絶対味わえない本マダロ(生)申トロの旨みは絶品です♪
東京銀座地場産品です♪

③ すわい・たらば・毛蟹 かにかみ三昧セット
3種のかにを堪能食べ比べ♪
蒸気しずめで無口にならないようにご煎下下さい♪

④ 静岡産クラウンメロン
メロンの最高級「クラウンメロン」は、甜度・肉質・風味・果実
など厳しい検査をクリアしたものに認められる特等です♪

⑤ 箕面地ビール7銘柄12本セット
スウキ飲みやすいピルスナータイプから、しっかりした黒ビール(スタウト)。
女性に人気の爽やかなビール(カベルネ)とそれぞれ違った風味をお楽しみ頂けます♪

⑥ 特別栽培新潟県産魚沼産こしひかり
最高級ブランド米「魚沼産こしひかり」の中でも特に美味しいと
言われる魚沼産地場のこしひかりです♪

⑦ 特別栽培秋田県産大潟産あきたごまち
あきたごまちの本場ミネラル豊富な八郎湖から、特別栽培で
安心・体にやさしいお米です♪

⑧ ご当地ラーメン味くらべ20食セット
北から南まで全国から選りすぐったご当地ラーメンセットをお届け♪
ご当地産品のラーメンの食べくらべが楽しめます♪

⑨ 特選 産地の中継箱詰合せ12回セット
創業明治時代、日本で最も長い歴史を持つ中継箱製「特選」で
選りよけで作られた中継箱詰合せの詰め合わせです♪

⑩ 沖縄ブルーシールアイスクリーム、うちなーパック6種12個入り
沖縄で有名なアイスクリームと言えば「ブルーシールアイスクリーム」♪
本場アメリカ生まれ、沖縄産のアイスクリームです♪



歯科医療を取り巻く業務形態のあり方に関する研究
他業種の事例調査

研究分担者 堀田 康弘

研究要旨

今日の歯科医療を取り巻く環境の変化は、歯科医師の業務のみならず、歯科衛生士、歯科技工士の業務にまで大きな影響を及ぼしている。特に、歯科技工士が担っている補綴物などの製作においては、新材料・新素材の開発や CAD/CAM システムの普及など、その製作技法においても変革期を迎えていることは想像に難くない。しかし、日本における歯科技工の業務形態は旧態依然とした状況にあるだけでなく、超高齢化社会を迎え、技工作業そのものを行う若い労働人口の減少も顕在化している。そこで、本研究では現在の歯科技工業務における問題点を、アンケート調査などを行った上で明確化し、他業種における改善例などと照らし合わせて対応策を検討してゆく。また、これからの技工作業に必要な新技術や新素材に対応できる知識の整理も行い、歯科技工教育の入口の部分から転換を図り、より魅力ある仕事となるようなモデルケースを提示する。

A. 研究目的

今日の歯科保険医療の中で、その治療技術の一端を担っているはずの歯科技工士を取り巻く環境の変化はあまりにも大きい。従来ハンドメイドによって作製されてきた修復物や補綴物が、歯科用 CAD/CAM システムによる省力化、充填材料や接着材料の進歩による技工士を介さない直接修復の増加、さらには、予防中心の診療形態への移行など、これまでの歯科技工における業務形態から変化を求められている。また、厚生労働省発表の平成 18 年保健・衛生行政業務報告（衛生行政報告例）結果（就業医療関係者）の概況をみても、歯科技工士における 20 代の就業人数は 20 年前に比べ半分以下となっており、超高齢者社会

を迎えた現在、歯科技工士の世界においても労働者の高齢化が進んでいる。一方で、こうした旧態依然の業務形態からの脱却を計ろうにも、2006 年歯科技工士実態調査報告（日本歯技）にもあるように、勤務者の総人数が 1~5 人と少人数ですべての仕事をこなしている技工所が全体の 36% もあり、日々の作業に追われてしまう現状を考えると容易ではなく、さらに、その方法の模索も十分にされていない。また、技工作業の効率化を目指して開発された歯科用 CAD/CAM システムも、本来の効率面での優位を示したものはまだ少ない。そこで本研究では、歯科だけにとらわれず、他業種で同様の課題を抱えつつも改善が図れたケースや、諸外国の先進的な事例等

を参考としつつ、今後の歯科保健医療の変化、さらには社会の変化に対応した、将来における歯科技工業務形態のあり方に関してモデル的ケースを提示することを目的とする。

B. 研究方法

現在、日本経済の成長は思うように進まず、GDPの成長率を見てもバブル崩壊後の91年以降、ほぼ横ばい状態である。また、これに輪をかけるようにして、2008年9月に起こったリーマン・ショックにより、日本経済は更なる失速を余儀なくされている。そのため、日本経済は過去最悪だった08年度のマイナス3.7%に続き、09年度GDPはマイナス2.6%と、2年連続で落ち込む見込みであると政府からの発表もなされており、景気を回復させるには、まだ時間がかかりそうである。

こうした日本経済の変化に同調するように、歯科医療を取り巻く環境も変化してきており、歯科医師の業務のみならず、歯科衛生士、歯科技工士の業務にまで大きな影響を及ぼしている。特に、歯科技工士が担っている補綴物などの製作においては、新材料・新素材の開発やCAD/CAMシステムの普及など、その製作技法においても変革期を迎えていることは想像に難くない。しかし、日本における歯科技工の業務形態は旧態依然とした状況にあるだけでなく、超高齢化社会を迎え、技工作业そのものを行う若い労働人口の減少も大きな問題となってきている。そこで本研究では、歯科だけにとらわれず、他業種で同様の課題を抱えつつも改善が図れた事例等について調査を行った。

C. 研究結果

歯科技工業務で一番大きな部分を占めるのは、やはりモノづくり（技工作业）そのものであるが、一般工業界においても、モノづくりの主となる製造業の不況は厳しく、なかなか参考になる事例は少ない。そんな中でも、幾つか実際の事例として参考になるものを収集した。

武蔵工業団地（埼玉県入間市）では、チーム入間という入間市周辺の中小企業5社からなる協業受注集団が、昨年4月に結成された。各社の特徴は金型、レーザー加工、プレス、ダイカスト、切削の分野での高い技術力。発注者から渡された図面通りに製造しているだけでは生き残れない。技術力を結集して、新たなモノづくりニーズの掘り起こしに挑んでいる。こうした共同受注を行う集団は他にも沢山あるが、うまく機能していないのが実情だ。例えば、メンバーの技術分野の重複から仕事を取り合ったり、売上をどう分配するかで揉めたりと、内部の利害対立で暗礁に乗り上げるケースが少なくない。そのためチーム入間では、トラブルを未然に防ぎ、円滑に運営できるよう工夫している。技術の重複やレベルの差が生じないように企業を選定し、運営規約には、販売手数料、利益配当、秘密情報の取り扱いなどが細かく盛り込まれている。

また、「日本だからできるソリューションを提供したい」と熱く語る経営者たちの理念の共有こそが推進力であるが、この始動して間もないチーム入間のお手本が、京都にある京都試作ネットである。

「誰にでもできる仕事は中国へ流れる。今後日本は世界の開発国を目指すべきで、そのためには、モノづくりの上流である試作という段階から携わり、製品化につなげ

ることが重要だ」

京都試作ネット代表理事で山本精工（宇治市）代表取締役副社長の山本昌作氏はこれからの中小企業のあるべき姿について、こう力説する。

京都試作ネットは、府内の機械金属業者などの18社で組織した企業連合。インターネットを通じて、顧客からの試作品の相談を受けてから、図面があるものについては2時間以内に見積もりを回答、図面のないものなどは2時間以内に商談のヒアリングを行う。

メンバー企業の共通理念は「京都を試作の一大集積地にすること」（同）であり、01年7月に設立。メンバー企業は、たとえば同じ金属加工でも、アルミ加工や微細加工など、独自の強みを持つため、仕事の奪い合いになることはない。無論、行政からの支援を受けることのない自立した集団である。

しかし、ITバブルが崩壊し、多くの中小企業が受注の激減に苦しむ中、なぜこうした企業連合ができたのか。山本氏は言う。「試作ネットの立ち上げの10年前から、府内の中小企業の2代目経営者の集まりでピーター・ドラッカーの経営学の勉強を始めた。そこで、顧客を創造することが事業の目的とするドラッカーの経営哲学をどう具現化するかの議論を積み重ねてきた。いわばその集大成が試作ネットだ」

高い志を持つ集団だからこそ、活動も本気だ。年会費は60万円で、展示会や広告媒体費用などに使う。加えて毎週の事務局会議をはじめ、各社選りすぐりの営業マン約30名を集め、顧客とのやりとりでの反省点の共有や新規開拓に向けて戦略を練る毎月の営業活動会議などで徹底した議論が行われる。

メンバー企業になるには半年間の準会員期間にドラッカーの講座や毎月の理事会、営業活動会議にも参加する必要があり、企業の本気度が問われる。山本氏は、「途中で離脱する企業もある」と内実を明かしつつも、「この連携がうまく機能するポイントはその集団が自立しているかどうか。そして、メンバー企業は金儲けではなく、どう事業を創造するのかという理念を共有できること」が鍵だという。

厳しいからこそ成果も着実に現われ始め、設立から09年3月末時点までの引き合い件数は2504件、成立件数は636件、成約金額も12.4億円を突破した。それだけではない。山本精工は取引先が9年前はわずか50社だったのが、今では450社に増えたという。また、衣川製作所（京都市）は試作ネット加入前の売上高は1億8000万円だったのが、昨年度は3億6000万円に達するなど、試作ネットのメンバー企業の業績も好調のようだ。

同社代表取締役の衣川隆文氏は、「当社は半導体製造装置に強みがあったが、試作ネットに加入して以降、半導体で培った技術をもとに、医療機器開発も手がけるようになり、技術のストライクゾーンが確実に広がった」と試作ネット効果に胸を張る。

（町工場の親父もここまでやれる、月刊WEDGE 2009年11月号 一部要約）

この事例にもあるように、「誰にでもできる仕事は中国へ流れる」というモノづくりの現場の言葉は、逆にそのモノを商品として売らなければならない企業からすれば、より安く、より効率的に、商品を販売する上で重要な戦略となっているのも確かである。（参考：新興国に低価格モデルメーカーの勝算、月刊WEDGE、2009年08月号）しかし、自社で得意とする部門

をはっきりとさせ、連携を取りながら新たな顧客を開拓するという部分は、かなりの数を占める小規模な歯科技工所においても十分参考になるのではないだろうか。

こうした海外への流出といった状況は、日本の歯科技工事情にも通じるものがある。歯科技工の現場においては、試作の段階というものが全くないわけではないが、大部分の仕事では試作の段階は存在せず、直に使用できる形での納品が求められている。そのため、モノづくりの上流である試作という段階から携わり商品化するという、日本だからできるソリューションを提供するという部分は発揮し難かった。これまでの歯科技工では、ユーザーサイド（この場合は、利用する歯科医師）の要求に応えるために、技工料金の引き下げによる価格競争を激化させ、納期を短縮するような形での差別化をはかってきた経緯がある。だが、一方では、この激しい競争に伴う厳しい労働ノルマが発生したことで、労働条件や労働環境が悪化し、その結果、就職希望者の減少にもつながるといふ、負の循環が表在化してしまった。こうした結果を招く一因を担った歯科医師側においても、歯科医師数の急激な増加による患者数の減少や保険点数の伸び悩みなど様々な要因から、より安く・より効率的な技工を求めざるを得なかったのも確かである。

この負の循環がもたらした歯科技工士の若年就労者数の減少は、近年特に顕著で、厚生労働省発表の「平成20年保健・衛生行政業務報告」の中の「年齢階級別にみた就業歯科技工士数」（図1）を見ても、昭和63年には全体の59%近くを占めた35歳未満の技工士数が平成20年には半分以上の26%へと大幅に減少している。この

ままでは、補綴物の製作工程にCAD/CAMなどを導入して省力化を推進したとしても、それを扱う人間がいなくなってしまうのでは元も子もない。そのためにも、現状の労働条件や労働環境を改善し、魅力ある職場づくりを推進する必要があると考えられる。この魅力ある職場づくりに関しては、数年前より様々な企業での取り組みが行われている。

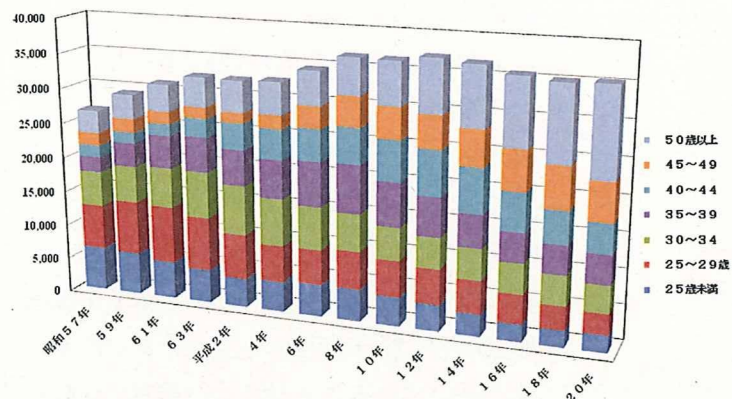


図1 年齢階級別にみた就業歯科技工士数

○魅力ある職場づくりに取り組む企業が続出

景気回復や2007年問題など、人手不足を課題とする企業が続出している。そんな中、魅力ある職場づくりに取り組む企業が増えている。

伊藤忠テクノソリューションズは、「社員の働きがいを感じる会社」を目指し、社員の能力が発揮できるような企業文化、環境をつくり、魅力ある職場にするダイバーシティへの取り組みを強化する。特に「女性の活躍」に軸を置き、各施設や制度の企画、管理、運営をはじめ、社内研修などを進め、女性のキャリア推進、社員の仕事と出産・育児の両立を支援していくという。

サイボウズも社員の環境づくりに取り組む企業の一つだ。サイボウズでは、社員が長期間活躍できることを目指し新たな

人事制度を導入した。導入した制度は、「年功重視型の人事制度」。この制度では、勤務年数や勤怠状況で社員を評価し、個人の成果は査定しない。サイボウズも伊藤忠と同様、社内で女性の活躍の場が広がっており、一方男性は家庭での役割を増しつつある。そのため社員の仕事と家庭の両立を支援する必要が出てきており、今回の制度を導入したという。

日本の企業は長らく、年功序列型の人事制度をとってきた。それがバブル崩壊によって、実力主義に変わり、さらにはリストラと一部の社員には厳しい施策をとっていた。しかし、ここにきて社員の働く環境づくりへの取り組みが目立ち始め、元々の日本型経営の良さが形を変えて見直されつつあるのかもしれない。(ソフトバンクビジネス+IT 07/02/02 記事)

この事例で示されているダイバーシティ (diversity) は多様性と訳す。企業内では人種、性別、年齢、性格など様々な違いを持った人材の活用を推進することを、ダイバーシティマネジメントと呼んでいるが、現段階では日本の場合は、「女性活用」を指すことが多い。米国企業でダイバーシティマネジメントといえば、人種、性別、年齢にこだわらず多様な人材の登用が組織を活性化する、という人材活用戦略の1つである。

日本では女性登用がその最初の一步として位置づけられており、女性活用推進室などの部署を開設した企業もあるが、女性が長期的に仕事を続けていくためには、託児施設の充実や、産休・育児休暇の制度など様々なインフラの整備が、まだ十分に提供されておらず、こうした取り組みは必ずしも順風満帆とは言えないようである。

(NBonline 1周年記念セミナー「本気

で取り組むダイバーシティ」・日経ビジネス online 2007年6月14日記事より)

女性活用推進、またはダイバーシティは進んでいないのか。阻害要因があるとしたら、何なのか。最初に司会が、「ダイバーシティは、組織のあり方を根本から変革すること。企業がこうした変化を前向きにとらえられないのが、原因ではないか」と問題提起した。

これを受け、「変わることを躊躇する企業」に警鐘を鳴らしたのは内永氏 (日本IBM技術顧問・NPO法人J-Win理事長)だ。「物事の進むスピードが速くなった現在は、今日地球の裏側で起こったことが明日には自社のビジネスに影響が出る時代です。変化に対応せずに生き残れる組織などありません」と内永氏は言う。

「生物の世界でも、今まで生き残ってきたのは強い力を持つ種ではなくて、変化に対応することができた種です。生き残りたければ、変化するしかないのです」

海外経験の豊富な白河氏 (フリーランスライター) も、こう補足する。「変化を拒む人は、今いい思いをしている人だと思います。私も数年インドネシアに在住しましたが、紛争の根本は、政権の中核層が既得権益を手放そうとしないことでした。こういう状態は、国力を大きく落とします。今のままでいいと考えていたら、日本は世界から取り残されてしまうでしょう」

変化には反発があっても当然だが、それを乗り越えられるかどうかはリーダーにかかっている、と指摘するのは遙氏 (エッセイスト)だ。ユニークな視点で書かれた遙氏のエッセイ「遙洋子の『男の勘違い、女のすれ違い』」には賛否両論のコメントが寄せられるが、「面白い、と応援してくれるのは一流企業のトップの方が多いです